

2024年
12月

@IT

Cloud Native Week 2024 秋

～理解が進んだ今こそ知りたい、
クラウドネイティブで
本当に価値を生み出すための前提条件～

開催日時： 2024年12月4日(水)～ 12月5日(木)

セッションプラン最終締切日：2024年11月11日(月)

リストプラン最終締切日：2024年11月29日(金)



Copyright © ITmedia Inc.

開催概要

名称	@IT Cloud Native Week 2024秋 ～理解が進んだ今こそ知りたい、 クラウドネイティブで本当に価値を 生み出すための前提条件～	想定視聴者属性	経営者、経営企画の方、社内情シスの 運用・方針策定をする立場の方、情シ ス部門の企画担当者、運用管理者、開 発部門、Sler など
主催		告知・集客	
開催日時	2024年12月4日(水)～ 12月5日(木)	テーマ	ゾーン1：クラウドネイティブ実践の前提条件
申込締切	セッションプラン最終締切日：2024年11月11日(月) リストプラン最終締切日：2024年11月29日(金)		ゾーン2 ~~開催中止~~ クラウドデータベース
イベント形式	集合型オンラインセミナー		ゾーン3：クラウドセキュリティ
事前申込者数	想定400名 ※過去開催の実績値に基づく想定値のため、実際には開催するテーマ数などに応じて前後する場合がございます	運営	ゾーン4 ~~開催中止~~ DevOps
			ゾーン5：開発・運用
			アイティメディア株式会社

※本内容は予告なく変更または実施を中止する場合がございます。あらかじめご了承ください。ご不明点等は営業担当までお問い合わせください。

| 概要 ——— 本当に分かってますか？クラウドネイティブ実践の前提条件

AI（人工知能）や生成AIの文脈でもクラウド活用が進む中、クラウドは企業にとって当たり前の状態だと言えるだろう。クラウドネイティブの概念への理解も進みつつある。先行企業はコンテナやKubernetes、あるいはマイクロサービスを活用しながら、自社のビジネス価値をスケールさせ、収益、ブランド、エンゲージメントを向上させ続けている。

だが、クラウドネイティブを理解するにつれて「コンテナや、Kubernetes、マイクロサービスをただ使えばいい」という結論に終始していないだろうか。「ゴールがコンテナ化」「とりあえずKubernetesで」「アプリは絶対マイクロサービスに」となっていては、自社にとってどう役立つかも分からず、経営層に価値を説明することもできず、プロダクション環境への実装はおろかPoCも満足にできないのではないだろうか。

本セミナーでは、クラウドネイティブの前提条件から振り返り、確実にクラウドネイティブを実践、ひいては成果の獲得に乗り出せるノウハウ、手段を明確化する。クラウドネイティブの本当の価値と実践事例が分かる3日間。

1

始め方

3

クラウドセキュリティ

2

開催中止 ベース

4

開催中止 SecOps

5

開発・運用

| 概要

本当に分かってますか？ クラウドネイティブ実践の前提条件

クラウドネイティブに乗り出す前に理解しておきたい、クラウドネイティブ実践の前提条件とは。

| キーワード

クラウド移行

クラウド活用

リフトアンドシフト

コスト最適化

ガバナンス

内製化

| 登壇講師候補 ※今回の登壇をお約束するものではありません。

| 視聴者の抱える課題

- クラウドネイティブのことが何も分からない
(クラウドのことが何も分からない)
- 何をクラウドに移行すべきなのか分からない
- どのクラウドのどのサービスを選べばいいか分からない

| 概要

データベース

クラウドネイティブを実践する上で、データベースはどう選ぶ？
効率的にデータを管理するポイントとは。

| キーワード

クラウドネイティブデータベース

分散トランザクション

DBaaS

NoSQL

分散DB

分散SQL

NewSQL

開催中止

| 登壇講師候補

※今回の登壇をお約束するものではありません。

| 視聴者の抱える課題

- 従来のRDBとNewSQLの違いが分からない
- クラウド時代にどのDBを選べば良いのか分からない
- クラウドネイティブなアーキテクチャを目指す上でのDBの活用方法が知りたい

| 概要

セキュリティ

クラウドネイティブな環境で狙われるのはどこなのか？
クラウドネイティブ基盤を守るにあたってポイントは？
本当のクラウドネイティブセキュリティの勘所。

| キーワード

#クラウドネイティブセキュリティ

#コンテナセキュリティ

#マイクロサービスセキュリティ

#サーバレスセキュリティ

#マルチクラウドセキュリティ

#APIセキュリティ

#セキュリティモニタリング

#通信の暗号化

#クラウドフォレンジック

#脅威モデリング

#ペネトレーションテスト

#CASB

#CSPM

#IDaaS

#パスワードレス認証

#シークレット管理／保護

| 登壇講師候補

※今回の登壇をお約束するものではありません。

| 視聴者の抱える課題

- ・クラウドネイティブセキュリティがよく分からない
- ・クラウド環境で何をどこまで守ればいいのか分からない

概要

DevSecOps

クラウドネイティブな開発、運用を実践する上でアプリケーションの脆弱性にどう対応すればいいのか？
DevOpsのワークフローにセキュリティをどう組み込めばいいのか？
クラウドネイティブ技術活用におけるDevSecOpsのポイントとは。

キーワード

DevSecOps

シフトレフト

セキュリティレビュー

OSS脆弱性

脆弱性管理

イメージスキャン

開催中止

登壇講師候補

※今回の登壇をお約束するものではありません。

視聴者の抱える課題

- ・ 開発、運用、セキュリティを連携させる方法が分からない
- ・ クラウドネイティブアプリケーションの脆弱性を管理し、対応したい

| 概要

開発・運用

開発や運用において、コンテナ、Kubernetes、マイクロサービスなどのクラウドネイティブ技術を活用する価値とは何か。
クラウドネイティブ技術を活用することで見えてくる課題とは。安定稼働が求められる中で、企業はクラウドネイティブをどう実践しているのか。

| キーワード

アジャイル開発やDevOps、CI/CDの導入支援

マイクロサービス

統合運用管理

コンテナ／Kubernetes環境における可観測性（オブザーバビリティ）

API公開支援／管理製品

マルチクラウド管理／監視ソリューション

コンテナ／Kubernetes向けソリューション

内製化支援ツール／サービス

CI/CDの計測による高速化

分散クラウド管理製品

APM製品／サービス

| 登壇講師候補

※今回の登壇をお約束するものではありません。

| 視聴者の抱える課題

- 何を目的にクラウドネイティブを始めればいいのか分からない
- 開発や運用においてどこまでクラウドネイティブを実践すればいいのか分からない

タイムテーブル

時間	枠時間	12月4日(水)	時間	枠時間	12月5日(木)
13:00-13:40	40分	基調講演1-1 (始め方)	13:00-13:40	40分	基調講演2 (クラウドセキュリティ)
13:50-14:20	30分	スポンサーセッション1-1	13:50-14:20	30分	スポンサーセッション2-1
14:30-15:00	30分	スポンサーセッション1-2	14:30-15:00	30分	スポンサーセッション2-2
15:10-15:50	40分	基調講演1-2 (開発・運用)	15:10-15:40	30分	スポンサーセッション2-3
16:00-16:30	30分	スポンサーセッション1-3	15:50-16:20	30分	スポンサーセッション2-4
16:40-17:10	30分	スポンサーセッション1-4	16:30-17:00	30分	スポンサーセッション2-5

※スポンサー数に応じて、プログラムは適宜変更いたします。

ご協賛メニュー

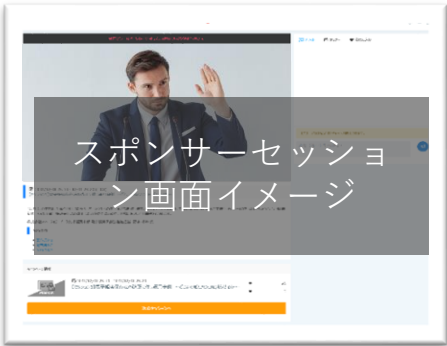
	プラチナプラン	セッションプラン	全リストプラン	セッション リストプラン
スポンサーセッション Live配信＋アーカイブ	●	●	-	-
全申込者リスト（400名想定）	●	-	●	-
協賛セッション申込者リスト（200名想定）	●	● （上限300名）	-	● （上限300名）
スポンサーアンケート	●	●	-	-
自セッション視聴者データ・ レポートサイト	●	●	-	-
事前アンケート結果	●	●	●	●
スポンサーロゴ掲載	●	●	●	●
資料配布	●	●	-	-
開催報告書	●	●	●	●
料金（税別・グロス価格）	¥3,000,000-	¥2,000,000-	¥1,500,000-	¥1,000,000-

【備考】 ※申込者数は想定値となります。
※セミナー全体のセッションスポンサー数が3社未満の場合、開催日、開催テーマの縮小をいたします。
その場合、イベント規模縮小に伴い全申込者数が減少する場合がございます。
※各セッションのセッションスポンサー数が3社未満の場合、セッション申込者数が減少する場合がございます。

ご協賛メニュー詳細

- | スポンサーセッション
- | 全申込者リスト
- | セクション申込者リスト
- | セッションアンケート
- | 視聴者データ・レポートサイト

■ 製品やサービスをPRできる
スポンサーセッション枠を
ご利用可能



■ イベントに申込みをされた全
申込者の名刺情報のリストを
ご提供

■ ご提供情報：
名前・会社名・部署・役職・
住所・電話番号・
メールアドレス・業種・
職種・役職クラス・
従業員規模・年商規模・
関与など

■ イベント終了後3～5営業日以
内にExcelデータ形式にて納品

■ 協賛セクション申込者の
名刺情報のリストをご提供

■ ご提供情報：
名前・会社名・部署・役職・
住所・電話番号・
メールアドレス・業種・
職種・役職クラス・
従業員規模・年商規模・
関与など

※事前申込時に該当セクションを視
聴希望としてチェックしている人(任
意/申込時1カ所以上の視聴希望必須)
のリストが納品対象です。

■ 貴社のセッション枠の時間内
に独自のアンケートを実施

■ 単一回答・複数回答・自由回
答の3種類を組み合わせで自由
に設定可能

■ アンケートボタンを押すと、
ポップアップで表示

■ セッションのレポートサイト
をご提供

■ ご提供情報：
会社名・部署名・役職・電話番
号・メールアドレス
などの名刺情報

※DL可能

- | 事前アンケート結果
- | スポンサーロゴ掲載
- | 資料配布
- | 開催報告書

■ 事前登録時に製品選定における立場など
(BANT情報) 等も合わせてご提供

※アイティメディア側で設定のため個別設
定不可

■ イベントの集客サイトに貴社のロゴを掲
載、貴社サイトへのリンクを設定可能

■ 貴社セッション内で視聴者に向けて資料
の配布が可能

■ 配布点数：ご講演資料+3点まで

■ PDFデータを送付いただきダウンロード
リンクとするほか、貴社の指定外部リン
クを設定することも可能

■ アイティメディアで一般来場者へアン
ケートを実施 集計結果を開催報告書と
して会期終了後にご提供

■ 個人情報は含まない集計データでの
ご提供

※画像はイメージです。

オプションメニュー1

| 貴社セッションmp4動画納品

- セッションありのプランにお申込み頂き、実際に配信した貴社のLIVEセッションの録画データを納品。
- mp4形式
- 配信時のままの状態となるため編集不可。

料金 **¥50,000**

| セッション収録サポート

- 30分のセッション動画の収録をサポート。
- 専用のプロ機材と収録会場を提供
- オンラインでの収録も対応。
- 開催日の1.5カ月前までのお申込み必須。
- 講演者が2名以上の場合など、収録内容に応じて追加費用が発生する場合がございます

料金 **¥180,000～**

| リード情報×主催アンケート回答情報付与

- 視聴者の課題感などを収集している主催者アンケートの回答情報を、納品リードに付与して納品
- セミナー閉幕日の3-5営業日後に納品するリード情報に、アンケート回答情報を付与したうえで納品いたします。
- リードフォロー時の参考情報としてお役立てください。
詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-30/2czfbw2>

料金 **¥200,000～**

| 納品リストへのABMデータ追加

- アイティメディアのコンテンツ閲覧状況进行分析し、各企業の導入検討状況を推測できるABMデータを納品リストに追加するサービス。
- ABMデータによって企業の意図を可視化し、効率的な案件発掘が可能。
- データ集計作業のため、通常より1営業日遅れての納品。

詳細：go.itmedia.co.jp/l/291242/2022-10-19/2bvm1jn

料金 **¥200,000**

| リード カスタム納品

- イベントで入手したリードをMAツールへ直接納品や、貴社フォーマットにあわせて加工して納品
- 弊社パートナーのデータ連携ツールを介してリード情報を納品

詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-30/2czfbvy>

リード件数によって金額は変動
料金 500件～ **¥100,000～**

| ブランディング施策

- イベント告知サイトに貴社情報を追加で掲載し、ブランディング施策として活用可能。
- 通常より大きく会社ロゴの表示
- ショート動画の埋め込み
- フローティングバナー情報掲載

詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-30/2czfbvy>

料金 **¥500,000**

| アフターフォローセミナー

- 貴社の訴求と読者の関心に合わせた企画を編集部が設計し、アイティメディアが集客・配信までサポート。
- パネルディスカッションや30分のセッション動画の収録も可能。
- プロ機材と収録会場を提供。

詳細：<http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2022-01-30/281s4xh>

¥2,450,000
料金 **¥2,300,000**

| テレマーケティング

- イベント終了後、獲得したリードに対して所定の件数分コールを実施。
- 効果的に実施することで高い反響率と顧客獲得効果が望める。
- 最低実施件数 50件～
- 期間 3～4週間（250件の場合）
- 1000件以上は不可

料金 **¥75,000～**

※オプションのみでのお申込みはできません（すべて税別・グロス価格）

オプションメニュー2

セッション動画活用リード獲得	タイアップ プッシュ ターゲティング & ABM	DXメディア横断 PV保証タイアップ	セッションパンフレット作成 (IT・ビジネス関連)
■ 講演動画や資料をTechTargetジャパン／キーマンズネットに転載するサービス。 ■ セミナー後も継続的な【属性＆件数を保証したリード獲得】が可能。 詳細：go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-06-14/2czswgv 料金 ¥300,000～	■ 貴社のセッションを基にタイアップ記事を制作し、閲覧者属性を指定してHTMLメールで配信。 ■ 狙いたいターゲット属性をターゲティングして貴社セッション内容をお届け ■ 条件：セッションありプランにご協賛 詳細：https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-06-04/2czqsvy 料金 ¥1,300,000～	■ 貴社のセッションを基にタイアップ記事を制作 ■ DX関心層が多くメディア横断でタイアップ記事へ誘導 ■ 記事掲載メディア：イベント主催メディア ■ 条件：セッションありプランにご協賛 詳細：http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-06-04/2czqsty 10,000PV保証 ¥1,900,000 料金 ¥1,700,000	■ 貴社のセッションをパンフレットとして制作し、印刷用データ（PDF/x）を納品 ■ 取材内容はタイアップ記事広告としてメディアにも掲載 ■ 読者への認知獲得も狙える ■ 条件：セッションありプランにご協賛 詳細：http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-06-04/2czqsvn 料金 ¥1,200,000

※オプションのみでのお申込みはできません（すべて税別・グロス価格）

お申込みからの流れ

申込締切

セッションプラン：2024年11月11日(月)
リストプラン：2024年11月29日(金)

ご出展意思を担当営業にお伝えください。
後日弊社より発注書が送付されますので
DocuSignにご署名のうえご返送ください。

告知準備

セッションの講演者情報、講演タイトル、貴社ロゴデータ等と合わせてご提出いただく、
セッション登録用紙を事務局へご提出ください。

告知開始

2024年10月下旬

事務局にてイベント告知サイトをオープンいたします。
同時に視聴希望者の事前登録も開始いたします。
登録・視聴促進の為、インセンティブを使用する場合がございます。

開催準備

2024年11月中旬頃

配布資料・視聴者向けセッションアンケート
設問・動画納品など**講演に関する情報**を事務局にご提出ください。

※開催2週間前程度
開催2営業日前までにレポートサイト情報もお送り致します。

開催

2024年12月4日(水)～ 12月5日(木)

ライブ講演いただく場合は、事務局よりご案内する時間までにアイティメディアのスタジオ受付にお越しください。

レポート

会期終了3～5営業日以内に**事前申込者リスト**をご提出致します。終了後1～2週間程度、セッションのアーカイブ配信を行います。
※予定

開催報告書は集計後、別途営業担当よりご提出致します。

上記スケジュールは目安であり、状況によって変更になる可能性があります

過去開催実績



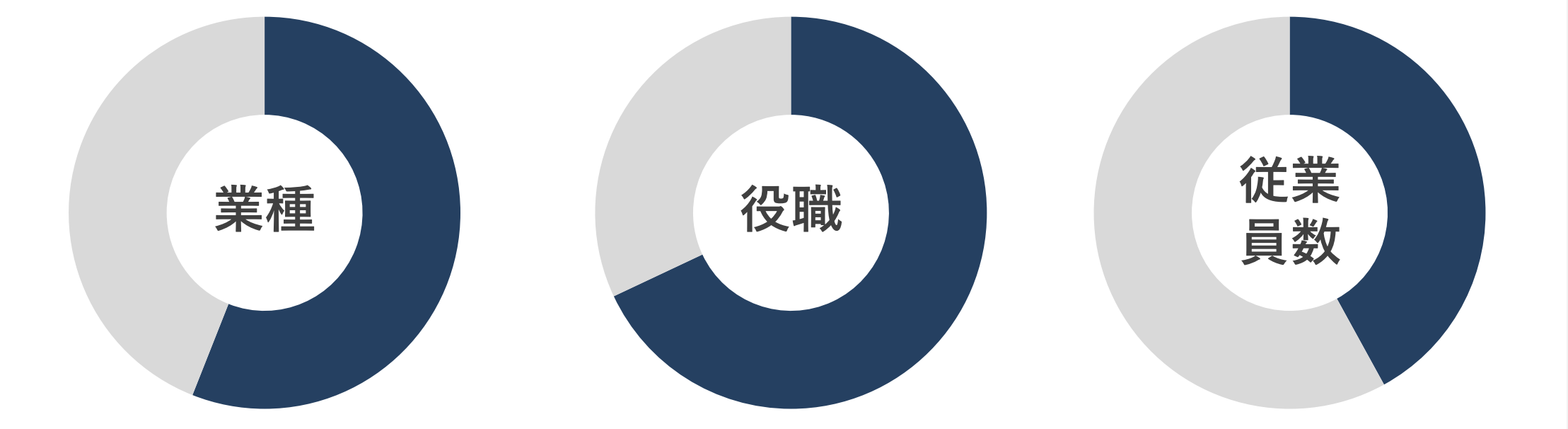
タイトル	@IT Cloud Native Week 2024 春 企業のクラウドネイティブ実践事例 ～先行企業に学ぶ、クラウドネイティブへの本音と勘所～
日時	2024年6月18日（火）～ 6月19日（水）
対象	経営者、経営企画の方、社内情報システムの運用・方針策定をする立場の方、企業情報システム部門の企画担当者、開発部門、運用管理者、Slerなど
主催	@IT編集部
全申込者数	556人 ※速報値のため関係者を含みます
開催報告書	http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-07-18/2czy4tv

step-by-stepで実践するクラウドネイティブなセキュリティ オイシックス・ラ・大地株式会社 ソフトウェアエンジニアリング本部 ITプラットフォームエンジニアリング部 サイト リライアビリティエンジニアリングセクション 岡本 真一 氏
本番さながらのインシデント対応訓練を支える freeeのクラウドネイティブ 環境とセキュリティチーム freee株式会社 PSIRT マネージャー ただ ただし 氏
SUBARU Labでの次世代アイサイト向けAI開発環境におけるクラウドネイ ティブ化の歩み 株式会社 S U B A R U SUBARU Lab副所長 兼 技術本部ADAS開発部 主査 金井 崇 氏
実践DevSecOps ～クラウドネイティブとオンプレミスの間から～ GMOペパボ株式会社 技術部技術基盤チーム シニア・プリンシパル エンジニア 山下 和彦 氏

“ビジネスを変革する” ITエキスパートのための技術専門メディア



■媒体名	@IT
■URL	https://atmarkit.itmedia.co.jp/
■PV	約770万 PV/月
■メルマガ配信数	約390万 UB/月
	※2024年1月実績



主な内訳：IT関連35.5%,製造業29%

主な内訳：係長クラス21.2%,部長クラス20.6%

主な内訳：1000人～ 5000人未満18.4%, 5000人以上24%

ご留意事項

｜ キャンセル料につきまして

以下の条件のいずれかに該当する場合、キャンセル料が発生しますので、ご了承ください。

発注書の取り交わし後のキャンセル
登録用紙の提出後のキャンセル
事務局案内開始後のキャンセル

その場合のキャンセル料は以下の通りです。

開催日41日前までのキャンセル ：50％
開催日40日以内のキャンセル ：100％

ただし、上記キャンセル料を超える実費（会場キャンセル料、講師アサインキャンセル料など）が発生する場合には、その追加費用も含めたキャンセル料を請求いたします。

｜ 消費税につきまして

消費税は別途申し受けます。

｜ 配信プラットフォームにつきまして

会場構成、運用システム等を含む配信プラットフォームは、都合により変更する場合がございます。

｜ オンラインでのセミナー配信リスクにつきまして

ライブ配信は常にリスクが伴います。以下にリスクを明示するとともに、当社の対策を記載いたしますので、予めご了承のほどよろしくお願いいたします。

リスク1：インターネット回線およびインターネットサービスプロバイダーにおける障害

映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。
直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。

リスク2：ライブストリーミングプラットフォームにおける障害

配信中にバッファをためておくことで、ユーザー環境によって映像の途切れや音声途切れる現象を軽減します。
障害対策として常にバックアップ配信ができるようにシステムを冗長化していますが、万が一配信プラットフォームが落ちた場合は視聴者にメールにて配信停止のお詫びを送付し、後日オンデマンド版を案内いたします。

リスク3：電源障害

映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。
バックアップPCから配信停止のお詫びをアナウンスし、後日オンデマンド版をご案内いたします。

リスク4：機材障害

映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。
直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。

リスク5：視聴側における障害

総視聴数に対する単独（10％以下）の視聴不良はそれぞれの環境に起因する可能性が高いので、問い合わせに対して個別対応いたします。
10件単位で同様の症状がみられる（現場でご報告いただいた）場合は、配信停止のお詫びをアナウンスし、後日オンデマンド版をご案内いたします。

メールでのお問い合わせ

mail : sales@ml.itmedia.co.jp

アイティメディア株式会社 営業本部

デジタルイベントの最新情報はこちら
<https://promotion.itmedia.co.jp/plan>